

La Movado

Fondita en 1951 N-ro 797 julio 2017

komuna organo de:

KANSAJA LIGO de ESPERANTO-GRUPOJ
Sone-higasi 1-11-46-204, Toyonaka-si, Ōsaka-hu, 561-0802

KJUŜUA ESPERANTO-LIGO
Tohurō minami 2-8-7, Dazaihu-si, Hukuoka-ken, 818-0105

ESPERANTO-LIGO de TYŪGOKU kaj SIKOKU
Kannonmen 14-1, Kusiki, Kitanada-tyō, Naruto-si, Tokushima-ken, 771-0371, KITANI Tomoko

ENHAVO

第65回関西エスペラント大会	1-2
楽しい作文教室(72)	塚本 猛 3
Kajero Libervola: Tri principoj de la Japana Konstitucio (1)	KITAGAWA Syozi 4
ニューヨーク最新エスペラント事情	Maki SANO 5
対訳:私はいかがして死んだ!(6)	平林 初之輔 / belmonto 6-7
2016年度KLEG活動報告	8-10
2017年度KLEG活動方針、役員	10
展示「前川典子さんを偲んで」	10
Salono: Bananumo とは?	ふぢもと・たつを 11
関西大会会場に出張郵便局	11
宮本『日エス』のおもしろい表現	的場 勝英 12
初心者のための語尾なし単語の使い方(55)	相川 節子 13
La Movado: 第105回日本大会ほか	13
訃報: 只石智津子さん	13
Vortkruca enigmo / 作文教室成績	14
Mikspoto / KLEG 事務局だより / 委員会報告	15
編集ノート	16

第65回関西エスペラント大会

桂福点さんの落語に一般市民40人

6月3日(土)4日(日)の両日、大阪府豊中市の大阪大学会館で、「Esperanto en solidareco de mondo-civitanoj 地球市民の連帯の言葉エスペラント」をテーマに、第65回関西エスペラント大会が開かれた。参加者は182人。国外からは、関東エスペラント大会と共同で招待した KOTHA Naga Siva Kumar さん(インド)のほか、韓国から HO Song さんと KIM Onnuri (通称 Onia) さんが参加した。公開番組には、40人を超える一般市民が参加して落語や講演を聞いた。

公開番組(1日目午後2時~4時20分)

関西大会の公開番組は日曜日に実施されることが多いが、今回は土曜日に行われた。まず登場したのは全盲の落語家、桂福点さん。マクラの部分で、数年前にNHKラジオの番組「音の旅」で宮沢賢治がエスペラントを学んだと知ったことなど、エスペラントと自分のかかわりを語った。そして、盲学校の後輩が駅のホームからの転落事故で亡くなり、同じ事故が二度と起きないようにと願って創作落語にとりくんだいきさつを話したあと、そ



撮影: 塚本猛さん

の落語「馱で落ちない話」を上演。映像や効果音をふんだんに使った演出で、時には笑わせ、時にはしんみりさせた。

次に大阪大学混声合唱団 TEMPEST が登場。団歌を日本語で、「フィンランディア」と「翼をください」をエスペラントで歌い、美しいハーモニーを聞かせた。

最後に堀泰雄さんが講演。エスペラントを使っての活動を次々に実践した経験を語った。世界の絵はがきやカレンダーを集めたこと、各国の友人に毎月エッセイを書いてもらい、本にまとめたこと、日本社会のできごとをエッセイに書き、それを毎年本にまとめて20年になること。東日本大震災のあとは、現地のように自分の被災者支援活動を中心に書いていることなどを話した。堀さん自身が主催している「エスペラント読書大相撲」にも触れた。

司会は田中一喜さんと久保田百合さん。

開会式（1日目午後4時半～5時）

物故者への黙祷のあと、大会実行委員長の島谷剛さんが歓迎あいさつ。そして関西連盟会長田熊健二さんのあいさつ、九州連盟会長野村忠綱さんの祝辞を武藤たつこさんが代読、中国四国連盟会長の原田英樹さんの祝辞、日本エスペラント協会会長鈴木恵一朗さんの祝辞と続いた。外国からの参加者として、KOTHA Naga Siva Kumar さん（インド）とHO Song さん（韓国）があいさつした。

続いてKLEG 奨学金が堀泰雄さんに、KLEG 賞が田中一喜さんと檜山秋彦さんに、田熊会長から贈られた。（受賞理由は p.9 参照）

司会は田中一喜さんと久保田百合さん。

楽しい夕べ（1日目午後5時～5時50分）

まず増井正典さんの腹話術。「与作」を人形と交代で歌いながら軽妙なやりとりで笑わせた。次に成田和子さんの日本舞踊「乱れ髪」。狂言「附子」では、島谷剛さん、森均さん、岩田好兼さんが熱演。最後にコーラスグループ Heliko のメンバーと、分科会で歌の練習をした人たちが登場。“Blovos en la vento” と “Lingvo por ni” をみんなで歌った。

司会は木元靖浩さん、福田誠さん。

エスペラント講演（2日目午後1時～2時）

KOTHA Naga Siva Kumar さんが “Kulturo de Barato” をテーマに、プロジェクターで写真を映しながらインドの祭や料理について話した。また地元

ベンガールのエスペラント運動についても触れた。司会は相川節子さん、映写のパソコン操作は瀬下政也さんが担当。

日本語講演（2日目午後2時30分～3時50分）

田中一喜さんが「新しいエスペラント普及活動（バンコクでの経験から）」をテーマに講演。タイのバンコクに3年間滞在している間に、現地のエスペランティストと協力して大学にクラブをつくり、KAEM（UEA のアジア委員会）の援助で国際合宿を開催するまでになった経過を報告。講演後にたくさんの質問が出た。司会は相川節子さん、パソコン操作は久保田百合さん。

分科会・並行番組

4つの時間帯で、全部で13の番組が行われた。

「入門講習会」は公開番組で、18人が受講した。講師は佐野葉子さん。学習番組としては「作文教室」「外国人と話す会」、活動に関しては「日韓共同開催大会」「地方会活動」「効果的な広報」「ネット例会」「UK 旅行団」「日エスデジタル化」「九条」、専門別や趣味の分科会としては「医学者・科学者」「囲碁」「歌の練習」があった。

閉会式（2日目午後4時～4時30分）

大会実行委員長の島谷剛さんからの参加人数などの報告に続いて、関西エスペラント連盟役員の紹介、大会実行委員の紹介、HO Song さんによる世界大会へのお誘いがあった。最後に島谷さんから、来年の開催地である吹田エスペラント会の大畑賀代さんに緑星旗が手渡された。

司会は藤井由美子さんと相川節子さん。

懇親会（1日目午後6時～7時45分）

同じ建物内のアッセンブリーホールで懇親会が行われ、54人が夕食をともにした。司会は堀田有里さん、乾杯の音頭はKOTHA Naga Siva Kumar さん。大会前遠足（1日目10時～12時）

16人が参加し、五月山動物園でウォンバットやエミューを見て楽しんだ。引率は田中一喜さん、久保田百合さん、的場祐子さん、島谷千晶さん。

記念品

記念品は島谷剛訳『対訳狂言 Noaj Komedioj』で、2001年に発行された『エスペラント狂言』の続編。

展示「前川典子さんを偲んで」 → p.10

出張郵便局・小型日付印・フレーム切手 → p.11



①エスペラント・アカデミーオは 1905 年に設立された。

【訳例 1】La Akademio de Esperanto estis fondita en 1905. (ikona, Orion, CA, M.H.)

【訳例 2】La Esperanto-Akademio estis fondita en la jaro 1905. (I 時制修正 JT.Ku)

エスペラント・アカデミーオ：la Akademio de Esperanto.

akademio (協会、科学院) は学校ではありません。この「エスペラント・アカデミーオ」は、正式名称が "Akademio de Esperanto" ですから、訳例 1 のように表現するのがいいでしょう。文章中では、冠詞 la を付加します。なおフランス語に関する「アカデミー・フランセーズ」は franca Akademio、スウェーデン語の「スウェーデン・アカデミー」は sveda Akademio です。

「設立する」には fondi (創設する、設立する) が使えます。実際に 1905 年の第一回世界エスペラント大会で提案され設立することになったのは "Lingva Komitato"(言語委員会)です。アカデミーオは 1908 年から上位の komisiono (委員会) でしたが、1948 年に komitato と一体化しました。

②アカデミーオは、独立した言語の機関である。

【訳例 1】La Akademio estas sendependa lingva institucio. (T.Ku, alfa)

【訳例 2】La akademio estas sendependa institucio de la lingvo. (Eiko)

【訳例 3】La akademio estas sendependa organo de la lingvo. (M.H.)

「独立した」には sendependa (独立の) が使えます。これは他に従属していないという意味です。memstara (自立した) も似た意味で、他の援助無しに自分の力で物事を行える状態です。memstara であっても、何かの支配下にあれば sendependa ではないでしょう。

「言語の機関」は lingva institucio で表現できます。organo (器官、機関) は少し違って、その機能に重点を置いたものでしょう。institucio は施設、機関であり、用例として publika institucio

(公共機関)、lingvaj institucioj (言語機関) があります。そのような機関の名前は instituto (学会、学院) で表現し、la Francia Instituto (フランス学士院)、Pasteŭr-instituto (パスツール研究所) の例があります。

③ 2007 年に 209 の語根を公認した。

【訳例 1】Ĝi oficialigis 209 radikojn en 2007. (AG, CA, Fumi, M.H.)

【訳例 2】En 2007 ĝi oficialigis 209 radikojn. (Ivajo)

【訳例 3】La Akademio aprobis 209 radikojn en 2007. (I 紀年修正 Jalfa)

「語根」は radiko (根、語根) です。「公認する」には oficialigi (公認する) が使えます。この文章だけなら aprobi (承認する) も考えられるでしょう。訳例では、紀年 (ある紀元から数えた年数) の前に la jaro がありませんが、付加してもいいでしょう。la trian de junio (6月3日) のように、月名の前の tago はよく省略します。

アカデミーオは oficialigi することにより、語根等を Universala Vortaro (普遍的辞書) へ追加して、その使用を推奨します。この「エスペラントの基礎」への追加を oficiala aldono (公式追加) といい、横浜で UK が開催されたのと同じ年、2007 年のものは 9 回目の公式追加です。

④ alergi/o も公認語根のひとつだ。

【訳例 1】Ankaŭ "alergi/o" estas unu el la oficialaj radikoj. (Orion, M.H.)

【訳例 2】Ankaŭ alergi/o estas unu el la oficialaj radikoj. (Fumi)

【訳例 3】La vorto "alergio" estas unu el la oficialaj radikoj. (CA)

「公認語根」は、oficiala radiko (公用語根) と表現されます。「も」とありますので、ankaŭ を付ける方がいいでしょう。原文では alergi/o に引用符がついていませんが、明示するために引用符を付加した方がいいと思います。"/o" の部分はこの語根が名詞に分類される事を示します。

「~のひとつ」は el (~の中から) で表現できます。el の後に来るのは複数形か集団の意味を持つ語です。Unuel が unu el la popolo を縮めたもので Zamenhof の筆名なのは有名ですね。

成績は p.14、新しい課題はありません

Tri principoj de la Japana Konstitucio (1) KITAGAWA Syozo

日本国憲法の三大原則（国民主権、戦争の放棄、基本的人権の尊重）の本当の意義に少し切り口を変えて迫ってみる。講演内容を簡潔に紹介。

Mi estis instruisto en la supera mezlernejo kaj speciale instruis la japanan historion kaj la modernan socion. Pro tio, lastatempe, kiam pli ol dek jarojn post emeritiĝo, mi kelkfoje estis petita prelegi pri la Japana Konstitucio. En tiuj kunvenoj mi kutime parolas pri la tri principoj, nome “la suvereneco de la popolo”, “la rezigno de milito” kaj “la garantio de fundamentaj homaj rajtoj” de la Konstitucio, en unika alproksimiĝo. Mi volas prezenti tion koncize.

Unue, pri “la suvereneco de la popolo” mi citas la faman frazon preparolitan antaŭ 154 jaroj (en 1863) de la 16a usona prezidento *Lincoln*. Li eldiris la frazon kiel la plej konciza klarigo de la demokratio “regado de la popolo, fare de la popolo, kaj por la popolo” en la fino de sia duminuta paroladeto okazinta en *Gettysburg*.

Nuntempe la frazon scias preskaŭ ĉiuj homoj inkluzive de eĉ lernantoj de elementaj lernejoj. Do mi demandas ĉiujn ĉeestantojn, ĉu ili povas respondi kian signifon havas la frazeto “regado de la popolo”. Tiam preskaŭ ĉiuj tuj ne povis respondi. Respondo estas “La popolo havas suverenecon”, kiu signifas, ke regado originale apartenas al la popolo mem, t.e. ke la popolo estas mastro de la lando.

Tio rezultigas, ke la popolo faris la konstitucion, por ke ĝi limigu la potencon de la ŝtata regantaro. Tiu ideo estas nomata kiel “konstituciismo”. Laŭ la ideo la nuna Konstitucio klare skribas, ke Tennoo, regantoj, juĝistoj kaj aliaj oficialuloj havas devon respekti kaj protekti la Konstitucion, dum pri

la popolo neniom mencias. Malgraŭ tio, la nuna ĉefministro *Abe* proponis revizion de la Konstitucio. Tio estas eksterordinara, neregula konduto, kaj li fariĝis la unua aktuala ĉefministro, kiu ignoris la konstituciismon. Kiel suvereno ni ne povas pretervidi tion.

Due, mi parolis pri la “la rezigno de milito”. En tiu ĉi temo kuŝas multe da diskutindaj aferoj: la sindefenda trupo, kiu estis origine malpermesita, tamen nun estas aprobita de la popolo dum pli ol duonjarcento da ekzisto; la agado en la UN-pactrupo (PKO), kiu daŭris ĝis ĉi-jara majo en danĝera Sud-Sudano; kaj la problemo de la rajto de kolektiva sindefendado, pri kiu antaŭ du jaroj *Abe*-registaro mallimigis uzon ignorante plimulte da kontraŭantoj; ktp.

Tamen, krom la supraj problemoj mi volis akcenti pri la ideo, kiel ni japanoj konsideras defendi sian landon. La Konstitucio en la antaŭparolo unue skribas jene: La japana popolo deziras eternan pacon, kaj profunde memkonscias la subliman idealon, kiu regas reciprokan rilaton inter homoj... Kaj mi demandas, kia estas “la sublima idealo”. Neniu tuj respondas. Mi montras la sekvantajn liniojn skribitajn jene: ni konfidas je la justeco kaj fido de diversaj nacioj, kiuj amas pacon, kaj ni decidis firme teni nian sekurecon kaj ekziston.

Jes, ni japanoj dum 70 jaroj tenis nian landon en paco ne per armiloj sed per paca diplomatio kun ĉiuj ajn landoj. Milito neniam okazos, se koncernaj landoj havas fortan intencon pace solvi problemojn ne uzante armitajn fortojn. Monda historio atestas, ke nunaj amikemaj landoj iam militis unu la alian: ne nur multaj eŭropaj landoj sed ankaŭ Japanio, Ĉinio, kaj Usono.
(daŭrigota)

rim. Mi referencis la Konstitucion tradukitan de *Tacuo Huĝimoto*.

ニューヨーク最新エスペラント事情

Maki SANO (アメリカ)

私がニューヨーク・エスペラント会（以下、NYエス会）に籍を置いて、早いもので20年近くが経ちます。その間、プログラムディレクターなどを務めて会のためによく働いた時期もあれば、仕事に追われてめったに顔を出せない時期もありました。ここ数年は残念ながら後者に当たりますが、今回この記事を書くにあたって改めて会の現状を知る機会を得ましたので、報告させていただきます。

現会長のマイケル・ブランディーニ（通称ミーコ）によると、NYエス会の正会員数は30人ほど。会員ではないが時々顔を見せる人やインターネットだけでつながっている人も含めると、50人くらいのエスペランティストがNY界隈にいるそうです。公式な例会は月に1度、マンハッタン・ミッドタウンの教会の一室を借りて、会員や客人によるプレレゴを聴くことが多いです。先日は元UEA会長のハンフリー・トンキン教授が「コンプレータ・エスペランティストになるには」という興味深い話をしてくれました。月例会のほかには、主に初心者を対象とした会話ロンドが不定期に開かれています。こちらは決まった会場がないので、ある時はタイムズスクエアのカフェ、またある時はブルックリンのバーというようにそのつど場所が変わり、FacebookやMeetupなどインターネットのイベント案内機能を使って参加者を募っています。会話ロンドは通常、月例会より小人数で、年齢層はやや低めです。小洒落たバーなどで開催されると、高齢の会員は（私も）



月例会の写真です。この日は日本からの客人も含め20人以上が集まる大盛況でした。（前列左から2人目が筆者）

ちょっと行きづらかったりするようです。

実はNYエス会では、この2～3年でずいぶんと若返りが進みました。それまでベテラーノたちがほぼ10年サイクルで務めていた会長職を、大学卒業まもない中米系の青年（先出のミーコ）が引き継ぎ、プログラムディレクターもエス歴2年の新人が担っています。さらに、例会や会話ロンドに行くと、（私がたまにしか行かないせいもありますが）毎回のように新しい参加者を目にするようになりました。一度だけ参加してそのまま消えてしまう人も多いですが、会の雰囲気を感じて正会員になる人もいます。こうした嬉しい変化の背景にあるものは何でしょうか。会長のミーコによると、Duolingo（インターネットの言語学習サイト。エスペラント版は2015年に公開）、Facebook、Meetup だそうです。確かに、数人の新人さんに話を聞いたところ、ほとんど全員がDuolingoによる独習者でした。しかも、彼らの多くが私よりしっかりとエス語力を身につけています。講習会で学んだ世代としては少々悔しくもありますが、これからの世代にとって、インターネット学習がますます主流となっていくことは間違いないでしょう。

もちろん、インターネットさえあればエスペラント人口が増え、すべてのエスペラント会が活気づくというわけではありません。新人さんの多くは、DuolingoやLernu!などで独習した後、「実際にエスペラントを使ってみたいくなって」生身のエスペランティストと触れ合える場を探したと言っています。NYエス会の場合、受け皿となる例会や会話ロンドがすでにあり、会長がプロのプログラマーであったことも幸いして、FacebookやMeetupの掲載情報を頻繁に更新することができています。また、ベテラーノたちが旧来の会のあり方にあまり固執せず、比較的穏やかに変化を見守っていること、トンキン教授（現副会長）のような優れた人材が若い人々を後方から支えていることも大きいのだろうと思います。おかげさまで、もう何年も会に貢献できずにいる私の後ろめたさも多少和らぎ、ありがたいことです（^^）。

NYの例がそのまま日本のエスペラント会に当てはまるとは思いませんが、みなさまが会の活性化をお考えになる際の何かのヒントになりましたら幸いです。

Mi mortis tiamaniere! (6)

HIRABAJAŜI Hacunosuke
tradukis belmonto (yamasita toshihiro)

“Mi aŭdis, ke li portis nur kofron sola.”

“Ĝuste stranga afero. Li ŝajne luis unu kompletan da litaĵoj de proksima luigejo, sur kiu verŝajne kuŝis la malsanulo, kiu forpasis ĵus antaŭ tagoj. Estas evidente, ke li pasigis noktojn sen kovraĵoj, en ĉi tia malvarmeco. Ne eblas, ke li kuŝus en la sama lito kun tiu grava malsanulo.”

Aŭskultinte ĉi tiun rakonton, mi estis certa, ke li ne estis en ĉi tiu domo en noktoj, kaj nepre dormis aliloke, lasante la gravan malsanulon sola en tia kvazaŭvaka domo. Mi konvinkiĝis, ke tia ago mem estas tute ne pardonebla, sed tamen estas pli racia ol dormi sen kovraĵoj dum semajno.

5

Mi komencis traserĉi ĉiujn taksi-oficejojn najbarajn, ekde la luita domo de *Tamamura*, kien metante esplorbazon. Kaj post dutaga klopodo, en la dudek-sepa oficejo, mi trovis la ŝoforon, kiu transportis la viron kun rimarkinda barbo de la mentono ĝis la vangoj, portantan unu kofron, ekde la adreso de la ludomo, en tiu tago.

La ŝoforo komprenis min policisto, laŭŝajne, kaj terurite demandis.

“Ĉu mi faris ion kontraŭ leĝo, oficisto?”

“Ne, ne grava kulpo. Konfesu al mi ĉion, kion vi scias pri la viro, kiun mi persekutas.”

Al taksiŝoforoj la plej timindaj estas policistoj. Kiam ŝoforoj okazigas ian akcidenton, ili tuj estas timigitaj, ke ili perdos siajn aŭto-licencojn, kio estas ilia bazo de vivteno. La ŝoforo miskomprenis min kiel policdetektivo tute konsternite, kaj timeme konfesis ĉion, kion li sciis.

Laŭ li, *Tamamura* deaŭtiĝis antaŭ la

私はかうして死んだ！ (6)

平林 初之輔 (1892 - 1931)

「荷物はトランク一つきりだったそうですね？」

「それがね、不思議なんですよ。近所の貸布団屋から夜具を一組お借りになったようですが、それにはこないだ亡くなられたご病人が、おやすみになってらしたようですから、あの方はこの寒いのに夜具なしで、暮らしてらしたにちがいないのですよ。まさかあの重病人と一緒におやすみになるわけには、いきませんかでしょうからね」

私はこの話をきいて、玉村という男はきつと晩にはこの家にとまったのではないに相違ない、この重病人をたった一人空家同然の家に寝かしておいて自分はどこかへ泊まりに行ったに相違ないと考えた。これは実に言語道断なことだが、この寒いのに一週間の夜具なしで暮らすということよりも、その方が合理的だと私は考えたのだ。

五

私は玉村の貸屋を中心として、その近所のタクシー屋を片っ端から探しはじめた。そして、二日かかって二十七軒目のタクシー屋で、やっと、問題の日に、頬から頤（あご）へかけて立派な髯（ひげ）の生えた、トランクを一つもった男を、件（くだん）の番地からのせて行ったという運転手を発見した。

運転手は、私を警察の者とでも思ったのか、非常に恐縮して言った。

「何か間違いでも御座いましたか？」

「なあに、間違いという程ではないのだが、ちょっと行方をさがしてるんだから、知っているなら、すっかり話して貰いたい」

タクシーの運転手にとって何よりも恐ろしいものは警官である。彼らは何か事故が起こるとすぐに、彼らの唯一の生活の資本である運転手免許を取り上げるぞと脅かされる。その運転手も一瞬に私を警察の刑事と勘違いしたおかげで、おっかなびっくりで、すっかり話してくれた。

それによると玉村は、本郷××町の立憲××会本郷支部という看板のかかった家の前で車を下りて、

domo kun reklampanelo 'Hongoŭ-Filio de la Konstitucia Partio xx, urbeto Hongoŭ-xx', kaj certe eniris ĝin.

Mi prenis la taksion de la sama ŝoforo, kaj iris ĝis antaŭ la domo.

"Ĉu ĉi tie estas la persono nomata s-ro Tamamura?"

Mi demandis, enirinte la domon.

"Tia homo ne ekzistas ĉi tie!"

Malĝentile respondis muskola junulo pli-malpli dudekjaraĝa, en malhelblua katuna vesto.

'Aha, devus esti, ke ĉi tio estas kloako de aŭdaculoj de la Societo xx, tial la figuro kaj fizionomio de Tamamura estis simila al ili' - mi nun sola konvinkiĝis.

"Li estas la homo kun rimarkinda barbo de la mentono ĝis la vangoj..."

"Kiu vi estas? Por kio vi venis, entute? Supozeble la spiono de la Partio xx, por pri-erĉi la situacion de nia partio!"

Unu el la aŭdaculoj respondis, fikse rigardante min kun akraj okuloj.

"Ho, ne. Verdire, kiel la mesaĝisto de la estimata s-ro Jamaoka en la centra oficejo, mi venis ĉi tien por privata renkontiĝo kun la mastro ĉi tie."

Kiam mi elparolis la nomon de la direktoro Jamaoka de la Partio xx, ili subite ŝanĝis sian sintenon kaj unu el ili rapide iris al la supra etaĝo. Kaj post momentoj ili venis malsupren kaj ĝentile invitis min al la supra etaĝo.

(daŭrigota)

たしかにその家の中へはいったということであった。

私は、早速その運転手の自動車によってその家の前まで行った。

「こちらに玉村さんという方はいらっしゃいますか？」

と私は中へは行ってたずねた。

「そんな人はこちらにはおらん」

と二十歳前後の紺緋（こんがすり）の着物をきた筋骨たくましい青年がぞんざいに答えた。

ははあここは××会の壮士の巣窟だな。道理で、玉村の容貌風采がそれらしいと思ったと私はひとりで合点した。

「頬からあごへかけて立派な髯を生やしていらっしゃる方なのですが……」

「君は誰だ。一体、何か用があるのか？ 大方××党のスパイだろう。我が党の情勢をさぐりにきたんだらう」

一人の壮士がこう答えて、凄い眼つきで私の様子をじろりと見た。

「いいえ、実は本部の山岡先生からの使いで、内々でこちらのご主人にお目にかかる用件ができたものですから」

私が、××会の山岡総務の名前を口に出すと、壮士連は急に態度をかえて、ちょっと二階へ上がったが、すぐおりてきてどうぞお二階へと案内した。

(つづく)

宮本正男編日本語エスペラント辞典 DVD 版 2500 円

Vortoteko 制作。辞典第3版に準拠した待望の電子辞書が完成。前方一致や後方一致、完全一致などさまざまな検索ができます。ハードディスクにインストールして使用（詳しい説明書付）。使用可能なパソコン等は、Windows OS（XP以降）のパソコン・タブレット端末等、Android OSのタブレット等、Mac（注意：iPadでは使用できません）。ただし、Macで使用する場合は「マック兼用版」を購入してください。

※ご注文の際はお使いのOSを明記してください。

2016 年度 KLEG 活動報告

2016 年の日本エスペラント大会は、KLEG 加盟の近江エスペラント会が地元大会委員会を引き受け準備、実施された。KLEG も全面的に協力した。

1. 各種行事

第 64 回関西エスペラント大会は、6 月 18 日、19 日堺市の国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)で開催され、参加者は 208 人であった。堺・富田林両エスペラント会の主催であった。

公開シンポジウムでは、岡崎晴輝さん、かどや・ひでのりさん、北川郁子さんがそれぞれテーマをたてて論じ、寺島俊穂さんの司会で議論した。

公開講演は、向後千春さんが、「ザメンホフの国際思想とアドラーの共同体感覚」と題して興味深い講演を行った。また、日中友好協会大阪府連合と劇団「息吹」の協力で「戦時下反戦放送・エスペランチスト長谷川テルの生涯と遺児暁子」の朗読劇が上演され、日中友好協会の人々も大勢観劇した。

大会前遠足では、参加者は路面電車の阪堺電車で天王寺から堺市内に入り、鉄砲長屋、山口家住宅、与謝野晶子生家跡、千利休屋敷跡、利晶の杜などを回った後、堺市役所最上階の展望台から市街や仁徳天皇陵などの眺望を楽しみ、堺を満喫した。

第 48 回エスペラント林間学校は、9 月 10 日、11 日の両日、昨年に引き続き、エスペラント会館(京都)で開催され、33 人が参加した。今回は東京、神奈川、石川など遠方からの参加者も多かった。学習は 3 クラスに分かれて行われた。松田洋子さんの「朗読講座」に 7 人、相川節子さんの「実用作文教室」に 9 人、Atilio Orellana Rojas さんの「中級会話教室」に 9 人が参加して、熱心に学習した。

分科会は、Atilio さんの「アルゼンチンの伝統と文化」、田熊健二さんの「エスペラントと日本語の数のかぞえ方」、木元靖浩さんの「略称 あなエス」、田中一喜さん、西千寿子さんによる「バンコクのエスペランチストとスカイプで話す会」の 4 つが行われ、講演や議論を楽しんだ。

2. アジアとの連携

毎年、関東大会と協力して、アジアの青年を両大会に招待しているが、今回招待したフィリピンの青年、Albert Garrido さんは「フィリピンのエスペラント運動」について講演した。

また、バンコク滞在 3 年になる田中一喜さんはタイでのエスペラントの普及活動にまい進している。タイでは初めての国際合宿の開催に成功した。9 か国から 24 人が参加した。

3. その他の KLEG の活動

第 103 回日本エスペラント大会は 10 月 8 日～10 日、近江八幡市のヴォーリズ学園で開催され、参加者は 431 人であった。近江エスペラント会が地元実行委員会となり、主催した。KLEG としても大会書店を引き受け、加盟ロンドも協力した。

ワン・ワールド・フェスティバル(OWF)は、2 月 4 日、5 日に開催され、展示と講演で参加した。4 回目の参加で、展示ブースには多くの人々が訪れ、チラシを約 430 枚配布した。エスペランチストも延べ 23 人見学や手伝いに来た。講演は「ワクワクする国際語エスペラントの世界」と題して行い、盛況であった。今回の OWF 後に講習会を開催した 2 ロンドに 2 人と数は少ないが受講生が現れた。

4. 加盟ロンド(地方会)の活動

入門講習会は 7 ロンドが 1 日講習などさまざまな形で 9 回開催(受講者 23 人)し、エスペラントを広報する各種の展示会は、12 ロンドがそれぞれに地元の市民文化祭などに参加してのべ 17 回開催した。ザメンホフ祭は近隣ロンドによる共同開催で、5 か所、のべ 95 人が参加した。

池田: 年 4 回俳句の会を開催し、詠んだ俳句はモバード俳句に投稿。狂言をエスペラント訳して上演。関西大会で「鬼の養子 Adoptito de Demono」。

宇治城陽: 関西大会・日本大会の外国人ゲストを例会に迎えて歓談し、2015 年に作成していた宇治市の観光案内の冊子を贈った。

近江: 第 103 回日本エスペラント大会を、近江八幡市のヴォーリズ学園で開催した。滋賀県での初の日本大会で 431 人の参加者以外に多くの協力者があった。

大阪: 入会 1、2 年の会員が熱心に Katrina シリーズを学習している。機関誌 La Voĉo は例年通り毎月発行を続けている。

京都: 2016 年 3 月より FM79.7 京都三条ラジオカフェにて「エスペラントって何?」という番組を継続中。毎月第 2・第 4 水曜 13:04 から 6 分間放送。

神戸: 週 3 回の例会、月例講座、毎年行われる神戸青少年会館祭、国際交流フェア等を例年通り行った。

会員数も現状を維持している。

堺：第 64 回関西エスペラント大会を富田林エスペラント会と共同開催した。機関紙 *Fontejo* 発行 1 回。

吹田：市民文化祭に参加し、アドラー心理学研究で著名な岸見一郎氏を講師に E ふれあい講演会を開催。直接教授法有資格者による入門講習会を実施。

高槻：2016 年秋、中国山東省・棗庄学院の国際世界語博物館に故竹内義一・登美子夫妻の業績を顕彰する展示コーナーへの資料が受理された。

豊中：関西大会を次年度に大阪大学会館（阪大豊中キャンパス）で行うため、その準備に向けて例会の教材やイベントの企画内容を活用した。

富田林：堺エス会と KEK64 を開催。公民館まつりで展示、ビデオでエスペラントを紹介、チラシ 200 枚以上配布。タウン誌に紹介される。1 人の体験者。

奈良：4 月にアースデイ奈良参加。翌週の「無料体験会」参加なし。8 月奈良大学博物館での「好奇心の人・北村信昭の世界」展に、当会のチラシも配布。

はりま：姫路学習会、スカイプ例会継続。加古川は東播磨生活創造センター「かこむ」に変更。姫路市の秋と春の国際交流行事に参加し、展示とミニ講座。

枚方：関西エスペラント大会や日本エスペラント大会に記録写真、ビデオ撮影などで積極的に参加した。枚方公園青少年センターで展示を行った。

和歌山：3 月視覚障害者への読み聞かせ活動の団体に「世界の言語事情とエスペラント」と題して江川が講演。出席者女性 10 人。

5. 各部局の活動

組織部：活動年鑑 *Jarlibro de KLEG2016* を発行した。第 64 回関西大会に協力した。2017 年度開催の第 65 回大会に向けて豊中・池田両エスペラント会と協力し、またアジアから招待する青年の交渉に当たっている。2 月に大阪市で開催された「第 24 回ワン・ワールド・フェスティバル」に 4 度目の参加をし、ブース展示と講演を行った。運動記事の収集で編集部にも協力した。

国際部：第 102 回世界エスペラント大会は韓国のソウルで開催される。隣国であるので、旅行団を出すことを決定し、旅行会社と企画を詰めた。

図書部：『エスペラント運動を考えるー La Movado 誌から』『関西エスペラント連盟 65 年史』中垣虎児郎 "50 Fabloj de Ezopo" を刊行（新編集版）した。図書目録 2017 を刊行した。La Movado 誌に毎号、*La Movado* 797

図書広告を掲載した。行事（大会・林間学校・ザメンホフ祭）での販売を事務局の全面的な協力を得て行った。第 103 回日本大会（近江八幡）の書店を担当し、販売を行った。メールによる新着図書の案内 "Novaj libroj" の発信は事務局に委ねている。

編集部：La Movado を毎月第 3 土曜日に発行した。紙版だけでなく、視覚障がい者には電子版も送っている。関西大会・中国四国大会・九州大会・日本大会の関連記事を充実させることができた。昨年に引き続き今年度も、適任の執筆者を得て対訳文学作品と書評を掲載している。理事・監査を加えた拡大編集会議を毎月行い、原稿依頼にも理事会の協力を得ている。

教育部：9 月に第 48 回林間学校を開催し、33 人が参加した。メーリングリスト「IETK」を国際部と協力して運用した。JEI の「講師養成講座」の広報にチラシを作成するなど協力した。

事務局：当直者・局員の継続した努力によって、連盟およびモバード社の日常業務を遂行した。関西大会など各種行事での図書販売や棚卸しでは会員有志の支援を受けた。会員や読者でない人に La Movado 見本や図書目録を送るなど、新規読者勧誘活動を継続的に行っている。図書部と協力して *Novaj Libroj*（メール版）を発行した。第 65 回関西大会の受付業務を行っている。会員の蔵書を引き受けて、整理、処分を行った。ホームページの維持には、引き続き山野敏夫さん（豊中）の支援を得ている。ツイッターで随時情報発信していたが、担当の峰芳隆さんの体調不調で中断した。

6. KLEG 賞・KLEG 奨学金（2016 年度）

KLEG 賞は、檜山秋彦さんと田中一喜さんに授与される。檜山さんは、滋賀県で初めて日本大会を開催するに当たり、近江八幡のヴォーリズ学園の協力を得て大会会場を決定し、学園長のあいさつをいただき、学園関係者その他のボランティアに会場の設営・片づけをしてもらい、また、同学園のプラスバンド部の吹奏楽演奏を実現するなど、会場側と一体となった大会運営に貢献した。田中一喜さんは 3 年間のタイ滞在中に、地元の活動家と協力して、講習会を行うなどして、エスペラントの普及に尽力した。2017 年 1 月にタイで初めて国際合宿を行った。

KLEG 奨学金は、堀泰雄さんに授与される。毎年 "Raportoj el Japanio" を発刊し、また『世界の旅人

堀さんの『エスペラント気ままエッセイ』シリーズ、東日本大震災の支援活動の報告などを世界に発信しつづけている功績に対して贈られる。

7. 組織状況

加盟団体数に変更はなく、次の17 Rond。池田、茨木、宇治城陽、近江、大阪、京都、神戸、堺、吹田、高槻、豊中、富田林、長浜、奈良、はりま、枚方、和歌山（緑丘会）。2017年3月末現在の団体会員は224人（前年239人）、個人会員は57人（同70人）。

2017年度 KLEG 活動方針

1. 日韓共同開催大会の成功のために

2018年に日韓共同開催エスペラント大会が、奈良市を会場に行われる。KLEGが地元実行委員会（LKK）となり、会員が一丸となって実施計画を作り、具体的準備を行う必要がある。

2. Rond活動を工夫して活性化し、会員の増加を

従来実施してきた講習会や展示などの活動に加え、インターネットの活用を工夫し、Rond活動の活発化に取り組み会員増加につなげよう。

3. 教育の推進と会員の能力向上

林間学校や関西大会での学習分科会などで学習の場を提供する。Rondでも学習方法・手段を創意工夫し、能力の向上に結び付けよう。

4. アジアのエスペランチストとの交流

関西大会にインドの青年を招待する。この機会も含め、来日外国人エスペランチストとの交流を積極的に進めよう。また、ソウルで開催される世界大会でも積極的に交流しよう。

5. 青年エスペランチストに対する支援

青年奨学金や会費の半額割引など、青年に対する支援を行っている。青年会員増加のために大いに利用しよう。

6. 活動のノウハウを継承する。

これまで行ってきた活動の経験・知識・技術などを今後の活動に資するため、活用しやすい文章にまとめる。

7. 具体的事業計画

- (1) 第65回関西エスペラント大会開催。
- (2) 第49回エスペラント林間学校開催。
- (3) ワン・ワールド・フェスティバルに出展する。
- (4) 活動年鑑 Jarlibro 発行。

(5) 出版：島谷剛訳『Noaj komedioj』の刊行、図書目録2018。出版企画：第66回関西大会（2018年）の記念出版、第105回日本大会（2018年・日韓共催）の記念出版。

(6) La Movado の定期（月刊）発行。

(7) 加盟Rondにおいて適宜、例会、講習会、ザメンホフ祭、機関誌発行、展示会を行う。

2017年度の KLEG 役員（敬称略）

2016年5月の総会において、定款を改訂し、理事・監事の任期は2年になった。したがって、2017年度は、役員の変更はない。

ただし、顧問の松原八郎さん、北さとりさんは、死去により、また、峰芳隆さんは辞退により、退任とする。

名誉会長：小西岳

顧問：赤田義久、大塚穎三、川野邦造、岸田準二、藤本達生、前川治哉

会長：田熊健二

副会長：相川節子

専務理事：中道民広

理事：磯貝尚武、染川隆俊、木元靖浩

事務局長：中道民広

組織部長：木元靖浩

教育部長：空席、部長代行：中道民広

国際部長：磯貝尚武

図書部長：染川隆俊

編集部長：相川節子

監事：加藤木みずえ、山本徹

展示「前川典子さんを偲んで」

6月3日・4日の両日、関西大会会場で「前川典子さんを偲んで」の展示が行われた。

前川さん（1949-1977）は、大会開催地の豊中市に住み、関西エスペラント連盟の教育部で誌上作文教室や通信教育を担当、教材テープ“La Teksto Unua”の吹き込みにも参加した。また全国合宿や関西連盟の合宿で講師を務めた。病気のため27歳で他界。その生涯が4枚のパネルにまとめられた。

パネルを作成したのは、菊島和子さんと的場朋子さん。パネルには、全文エスペラントで書かれたていねいな筆跡の日記もあった。



“Bananumo”とは？

三ツ石清さんと磯部晶策さん

ふちもと・たつを(京都府)

三ツ石清さんは、エスペラント界の国宝的人物であった。ふつうの意味では、迷惑な存在だったかも知れないが、直接、交流のあったひとは、どれも、三ツ石さんのことを、メイワクだと思っていなかったのではなかろうか。ともかく、話が面白かったのである。

もうひとつ、三ツ石さんは、手紙、というか、ハガキをたくさん書いたひとであった。三枚つづきぐらゐのハガキを書くのである。わが家にも、達生あてやりますみあてやらのハガキがいろいろあって、ひょいと、その辺から出てくるのである。

三ツ石さんは、2・26事件のときは、どこやらの駅で改札にあたっていたとか、歴史的なできごととも関係があったひとであった。兵隊にもとられ、ニューギニアだったかにも行っていた。この辺のことは、くわしく話を聞いていたひとに書いていただくほかはない。

私は、1962年の8月末から'65年の3月末まで、名古屋市の「天母学院」のお世話になっていた。通信教育などが、仕事であった。その間、'63年の3月17日には、カメオカの本本部で、宮内ますみさんと結婚したが、当分は別居生活をしていた。

そのころのある日、知立市に在住の磯部晶策さんが、訪ねてこられた。テープレコーダーがあって、録音もしていたので、磯部さんにも、何か音読してもらった。すぐに、これは、自分とは格がちがう、と思った。磯部さんのエスペラントは、それほどりっぱであった。

その磯部さんが、三ツ石さんと私に、名古屋駅近くのホテルで昼食をゴチソウして下さったことがある。すると、シェフの方が、出てきて、磯部さんにアイサツをなされたのである。

のちに、岩波新書の一冊として、磯部さんの『食品を見分ける』が出版された。いつのころからか、磯部さんは食品業界の大先生になっていられたのである。また、亡くなる数年前からは、何年かにわたって『暮らしの手帖』に、食品に関する記事の監修者として、磯部さんの名が出ていたのである。

小浜の日本大会でも、講演をされたが、私は病気で、きくことができなかった。磯部さんには、何冊かの著書があるが、その中の一冊では、フランスの一流のシェフが、磯部さんのことを「碩学」とたたえているのが印象に残っている。

ある時、木曾の山中のある所で、10人ばかりが参加して、合宿が行われた。l'omnibusの編集・発行人斎藤英三さん、三ツ石清さん等もいたとおぼえている。

話がたまたま下ネタになった時のことである。その時は、どうやら話の中心に磯部さんがいたものと思われる。かれは、一堂を見わたして、おもむろに“bananumo”と言ったのである。あからさまに言えば、peniso, piĉoあるいはkacoと言うべきところを、あっさりとして“bananumo”と言ったわけで、さすがイソベさん、というところであろうか。

磯部さんは、音楽のことも、よくわかっているひとであった。各分野にわたって、教養が深いひとであった。その磯部さんと三ツ石清さんは、仲がよかった。それぞれにとって、得るところが大であったものと思われる。私も、このおふたりと交遊ができてよかったと思っている。

関西大会会場に出張郵便局

関西大会が行われた6月3日・4日の両日とも、豊中阪大内郵便局が会場に出張、小型日付印が使用された。

この日同局には、大会参加者とは別に、小型日付印押印の郵便による申し込みが250件あった。

また、大会のシンボルマークをあしらったフレーム切手を前川治哉さんが発行した。62円と82円がある。



宮本『日エス』のおもしろい表現

の場 勝英 (兵庫県)

福本博次さんのやられている、宮本正男著『日本語エスペラント辞典』のデジタル化に伴う修正作業に参加して数ヶ月になります。やり始めた当初やっていけるか不安はありましたが、福本さんから適切な対応を頂きこれまでやってこれました。やりながら宮本さんの異才に敬服するばかりです。辞書を読むということのない中、このように読むことを強制されるとまた面白いものがあります。この辞書は宮本さんの個性と時代を反映しているので、その面でも興味がありました。難しい熟語や言い回しが出て来て、漢和辞典などを座右においての仕事になりました。

文字で検索できる宮本日エス辞書プログラムは、エスペラント文を作るのに大変役立つと確信します。

以下、私がさすがと思った訳をほんの少し紹介します。皆様ならどのようにエス化されますか？

◎ 慣用句などの訳

p.740 情けは人の為ならず

Kompato al alia, iam bono sia.

p.783 時と場合による

Ni devas obei la leĝon de la tempo kaj loko.

p.786 背水の陣をしく

bruligi post si la ponton; formacii kun rivero post si.

【比】 vivriske lukti; provi lastan batalon

p.790 ばかとはさみは使いようで切れる

La efikon donas ne la ilo, sed la manipulantanto.

p.762 女房の尻にしかれる

sidi sub jupo.

◎ 使いにくいと感じる neni- を使った訳

p.764 どこへも行かぬ neni- en iri.

いつの日にもせぬ neni- en fari.

何もやらぬ neni- en doni.

少しもやらぬ neni- en komi.

どうあってもやらぬ neni- en fari.

どうにもせぬ neni- en fari.

◎ どう訳してよいか、戸惑う日本語

p.732 さあ、どんなもんだ

Jen, vi vidas!

p.743 何が何してなんとやら

Kiu kion kiel fari...

何が何だかさっぱりわからない

Mi neniom komprenas, kio estas kio.

◎ その他

p.787 旧に倍するご愛顧をお願いします

Ni petas vian pli grandan favoron ol antaŭe.

p.790 往復はがき

poŝtkarto kun respondo pagita.

よきにはからえ

Aranĝu laŭ via bontrovo!

p.761 これは、これはご入来とは

Ha, kia vento alportis vin tien!

p.762 煮て食おうと焼いて食おうとどうなとしてくれ

Mi jam estas sub via libera dispono, kiel ajn vi povas min trakti.

p.763 この定理は任意の実数 x に対して成立する

La teoremo validas por ajna reala nombro x .

彼は人間が出来ている

Li estas matura en sia homeco [karaktero].

やめろといえぱしたくなるのが人情だ

Se oni diras, "Ĉesu!", la aŭdinto tre ofte emas

fari, tia estas la homa naturo.

p.733 うちの子に限ってそんなことはしない

Se mia filo, li neniam [neniel] faras tion.

p.735 それならなお更都合がよい

Se tiel statas la afero, tiaokaze estas pli bone.

p.736 一切を水に流す

rigardi [konsideri] ĉion ne okazinta; lasi ĉion en forgeso.

彼はどんな仕事をやらせても長続きしない

Li ne emas paciencie labori ĉe ĉia laboro.

p.737 長々お邪魔しました

Mi ĝenis vin rabante de vi karan tempon longedaŭre.

p.738 望みなきにしもあらず

Ankoraŭ restas la espero.

p.740 なごりが尽きないが

La adiaŭo estas tre malfacila [doloriga; ĉagrena], sed..

p.746 金ならいくらでもある

Se temas pri mono, ĝi abunde troviĝas ĉe mi.

p.748 どっちみち同じことになるだろう

Ĉiuokaze la rezulto fariĝos sama.

初心者のための

語尾なし単語の使い方 (55)

相川 節子

接続詞 (8) kaj

入門段階で習う接続詞ですが、使い方はいくつかあります。

① 単語と単語を並べる

Korvo kaj milvo estas sanktaj birdoj en japana mito.

(カラスとトビは、日本神話の中では神聖な鳥です)

Ĉevalo estas saĝa kaj fidela besto.

(馬は賢くて忠実な動物です)

三つ以上の単語を並べる場合には、コンマで区切って、最後の単語の前にだけ kaj を使うのが普通です。これはエスペラントだけでなく、いろいろな言語での習慣と思われれます。

Sur la tablo estas glasoj, teleroj, forkoj kaj kuleroj.

(テーブルの上にはコップ、皿、フォーク、スプーンがあります)

② 文と文を並列する

S-ino Tanaka estas la prezidanto de nia societo kaj s-ro Kimura estas la kasisto.

(田中さんはこの会の会長で、木村さんは会計係です)

③ 前の文のできごとが続いてあとの文のできごとがおこる時、そのふたつの文をつなぐ。あるいは前の文の帰結が次の文であるとき、そのふたつの文をつなぐ。

Vidante la akcidenton mi telefonis al polico, kaj venis policanoj post kelkaj minutoj.

(事故を見て警察へ電話をした。すると数分後に警官がやってきた)

Serĉu, kaj vi trovos. Frapu, kaj estos malfermite al vi.

(尋ねよ、さらば見いださん。叩けよ、さらば開かれん)

kaj をふたつ重ねて使い、「xx も yy も」という表現をすることもあります。

La pluvo falis kaj sur kampon kaj sur arbaron.
(雨は野原にも森にも降った)

La Movado-La Movado-La Movado-La Movado-La M

九州大会の日程

第 91 回九州エスペラント大会は、9 月 23 日 (土) 24 日 (日) の両日に開催することが決まった。会場は長崎カトリックセンターを予定している。

[←盛脇 保昌]

第 105 回日本大会 LKK 発足

第 105 回日本大会は韓国と共同開催することが決まっているが、5 月 21 日に LKK (Loka Kongresa Komitato) の第一回会合が関西エスペラント連盟の事務所で開かれた。4 人が出席し、テーマや記念品について話し合った。

ロンドの近況

京都エスペラント会 (例会日変更など)

4 月 8 日から 5 月 20 日まで、京都のエスペラント会館で初級講座を実施した。講師は森川和徳さん、受講生は 5 人。3 人が最後まで出席した。受講生のうち 3 人は京都エスペラント会のサイトを見ての受講で、あとの 2 人は会員等の紹介。教材は日本エスペラント協会の『ドリル式エスペラント入門』を使用した。

過去数年間、土曜日午前に初級講座を行ってきたが、同じ時間帯に例会がなかった。そこで現在水曜夜に行っている例会を、6 月から土曜午前に変更し、講座修了者に参加を呼びかけている。

[←会報 Leterkolombo]

東香川エスペラント協会

Atilio Orellana Rojas さんが去って寂しくなったが、残ったメンバー 4 人で学習を再開している。

[←中四国だより]

大阪エスペラント会

会員のうち 4 人が今年の世界大会に参加するので、大会の Dua Bulteno を教材に使って学習している。

訃報: 只石 智津子さん

3 月 24 日逝去、享年 85 歳。元大津エスペラント会会員で、日本仏教エスペランティスト連盟でも活動した。

Vortkruca enigmo

Redakcio

Vicigu adekvate 8 literojn trovitajn en la kvadratetoj kun steleto. Tiam vi akiros ion, kiu videblas en klara ĉielo.

Sendu la trovitan vorton kiel solvon de la enigmo ĝis la 20-a de julio, paperpoŝte al la oficejo de KLEG, aŭ retroŝte al <lamovado@gmail.com>.

Rimarko: (x) signifas, ke la vorto ne portas finaĵon.

1	2	3	4	5	6			7
8	*							9
		10		*		11		
12	13	*			14		*	
15		16		17	*			18
	19		20					
21			22		*			23
24						25		
26	*		27					28

Horizontale: 1. Scienco pri sano kaj malsano. (x) 8. Kategorio de vivaĵo, kiu enhavas homon kaj ĉiujn bestojn.(x) 9. Edzo kaj edzino estas ~edzoj.(x) 10. Ĉiu infano estas ~a por la gepatroj.(x) 11. La ~o estas unu el la planedoj de la sunsistemo.(x) 12. "Kiam vi ~lernis Esperanton?" "Antaŭ tri jaroj."(x) 14. Bela ~o de la sonorilo aŭdiĝis.(x) 15. Neologismo estas ~a vorto.(x) 17. Bonvolu ~i vian nomon sur ĉi tiu papero.(x) 19. Parto de vizaĝo sub la malsupra lipo.(x) 21. La gefratoj tri~e vojaĝis.(x) 22. Lando apud Britio.(x) 24. La ĉielo nun estas kovrita de ~oj kaj baldaŭ ekpluvos.(x) 25. La statuo de *David* estis skulptita ~ *Michelangelo*.(x) 26. Participo preterita.(x) 27. Homgrupo laŭ 2017.7

komuna kulturo, lingvo, religio kaj similaj.(x) 28. Pronomo de la dua personalo.(x)

Vertikale: 1. Tempo antaŭtagmeza.(x) 2. ~ feliĉo ne fieru, ~ malfeliĉo esperu.(x) 3. "Plena Ilustrita Vortaro" estas ~a kaj peza libro.(x) 4. Prezenti al si mem bildon memoratan aŭ supozatan.(x) 5. Iama regnestro de Rusio.(x) 6. Oni tranĉas per tranĉ~o.(x) 7. Prepozicio. (x) 9. Ekster-ordinara kapablo krei aŭ elpensi ion novan.(x) 11. Fortega rotacianta vento. (x) 13. *Windows* kaj *Macintosh* estas specoj de ~ilo.(x) 14. Grupo de fakuloj aŭ artistoj kun komuna karaktero aŭ opinio.(x) 16. Interjekcio de malĝojo.(x) 17. Vojo kun domoj en ambaŭ flankoj.(x) 18. Lastatempe malmultiĝas telefon~ sur strato.(x) 20. Mi kaj vi, mi kaj ili.(x) 21. Pronomo signifanta "iu", "iuj", aŭ "ĝenerale homoj".(x) 23. Filo de frato aŭ fratino.

La solvo al la maja enigmo: FINNLANDO

La ĝustan solvon donis 16 legantoj:

CA,
濱田 國貞,
Orion,
久保田 俱視,
TADA,
Sayuri,
Grebo,
西 千寿子,
平井 倭佐子,
前藤 寛,
Jokota Ju,
馬場 祝栄, 西 宣子, Kacu, 水渡 篤子, 武藤 たつこ

K	A	N	G	U	R	U		O
O	C	E	A	N		N	U	N
M	I		S	I	L	U	E	T
E	D	Z		K	E		A	
N		E	Ĉ		Ĝ	I		A
C	I	F	E	R		N	O	V
	D	I	R		F	E	R	I
G	O	R	I	L		R		A
E	L		Z		S	T	U	D

楽しい作文教室(72) 成績

12人の方から応募がありました。()内は留意事項です。

うん、良いね : Orion, Fumi(①時制), M.H.
良いね : T.Ku(①時制), AG, ikona(② linvga),
Eiko(①時制), CA(④ oficila),
Ivajo(① 1950), alfa(③ 1907).
もうひといき : Drako(②独立言語?), festo.

Mikspoto (当欄は敬称略)

★ 岩波書店 PR 誌『図書』5月号に太田哲男が「女神の森—フィリパ・ピラスから高杉一郎への手紙」を書いていて、その中に「わたしはおなじころ北京でひらかれた世界エスペラント大会に参加し、そのあと…」という高杉のことばがある。[←瀨田 國貞]

★ 5月24日『朝日新聞』岩手版に、「震災の鎮魂句世界に発信 照井翠さん句集エスペラントに」の見出しで5段抜きの記事。照井の俳句を堀泰雄がエスペラントに訳し、原文と写真を添えて自費出版したことを、二人の写真入りで報じている。「堀さんは国内だけでなく、欧州やアジア、中東の知人にも届けた。堀さんは『次はエスペラントから現地のことばに訳してもらい、世界の多くの人に触れてもらいたい』と期待する」と書かれている。

また6月2日には、『朝日新聞』群馬県版にほぼ同じ内容の記事が掲載された。[←堀 泰雄]

★ 方正 (ほうまさ) 友好交流の会会報『星火方正』24号に、田平正子が「アフリカには1890年代からエスペランティストがいた！ 第6回アフリカエスペラント大会に参加して」というタイトルの記事を書いている。写真入りで3ページにわたって、大会のようすや、部族語がたくさんあるアフリカでエスペラントを普及する意義を語っている。

[←大類 善啓]

★ 週刊誌「郵趣ウィークリー」5月19日号に、第65回関西エスペラント大会会場で使用される小型日付印が紹介されている。[←前川 治哉]

★ 5月23日、毎日放送テレビのワイドショー「ちんぷいぷい」の中の「ニュースな人」コーナーに、落語家の桂福点が出演。友人の事故をきっかけに、盲人にとって駅のホームが危険なことを訴える創作落語「駅で落ちない話」を作ったことを紹介した。落語のさわり部分の放映のあと、キャスターが「この落語は関西エスペラント大会で聞ける」と、大会の日時と場所を、口頭と画面の両方で紹介。エスペラントは国際共通語で、通じ合うことを目的にしているという説明もあった。[←山野 敏夫ほか]

9月号の「楽しい作文教室」は、担当者が世界大会に参加されるため、休載します。したがって、今月の課題はありません。

★ 新英語教育研究会『新英語教育』6月号 BOOK REVIEW 欄に、堀泰雄著『エスペラント語を使って集めた世界の平和メッセージ』が1ページを使って紹介されている。[←堀 泰雄]

★ 5月31日付『中日新聞』に「世界の民族楽器寄贈」の記事。堀泰雄がエスペラント行事などで世界各国を巡る際に民族楽器を収集、コンサートを開いていたこと、エスペラントがきっかけで私設文庫「えほんのもり」の運営者と知り合い、集めた楽器を文庫に寄贈したことなどが書かれている。

[←堀 泰雄]

★ 5月13日(土)午後9時、再放送5月15日(月)午前10時、NHK-FM「クラシックの迷宮」で「般若心経」がエスペラント訳の歌詞で歌われた。「ポーランドのザメンホフが世界共通語になるような人工語を創り出した」という説明もあった。[←的場 朋子]

KLEG 事務局だより

★ 関西大会に合わせて、関西連盟は島谷剛訳「対訳狂言」(大会記念品)を発行しました。大会に参加されなかった方も、お買い求めください。

★ KLEGの旅行団が成立し、第102回世界大会に向けて、7月22日(土)に出発予定です。

★ 一般社団法人関西エスペラント連盟の会員総会が、5月21日(日)、連盟委員会に引き続き、開催されました。加盟団体17のうち15団体が出席し、2016年度の事業報告、決算報告および2017年度の事業計画、予算を承認しました。

KLEG後援会へのご寄付

(2017年5月、敬称略)

江川治邦 10,000円

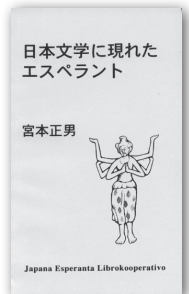
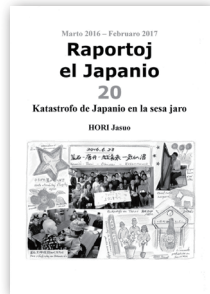
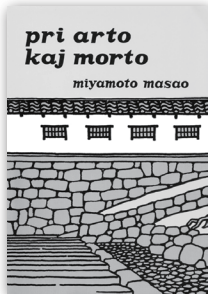
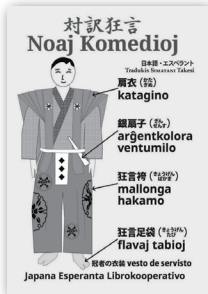
中道民広 5,000円

桜井信夫 800円

ご支援、ありがとうございます。

KLEG (関西連盟) 委員会報告

5月21日午後1時半から、豊中市中央公民館にて。出席20人、委任6人。議長:寺本元子さん(堺)、書記:那須和宏さん(枚方)。主な審議決定事項は①第65回関西大会の準備進捗状況②第2回日韓共同開催大会(第105回日本大会)について③2016年度の活動報告と決算④2017年度の活動方針と予算⑤部局報告⑥ Rond 報告など。



★ 新刊・新着 ★

Noaj Komedioj 800 円
島谷剛訳『対訳狂言』。「附子」「川上地蔵」「盆山」などよく知られたものから新作「ザメンホフ」まで狂言 18 曲を収録。第 65 回関西エスペラント大会記念品。A5 版、112p.

Pri arto kaj morto 1000 円
宮本正男のエスペラント原作(第 2 版。初版は 1967 年エスペラント研究社刊)。山上憶良、大伴家持、世阿弥、千利休、芭蕉、写楽、歌麿、晶子の芸術と生の軌跡を描く。A5 版、119p.

Fundamento de la homaj rajtoj 1000 円
もっとも基本的・包括的な人権に関する国際条約である「世界人権宣言」「国際人権規約(A規約・B規約)」を収録。〈人権〉が問い直されるいま、ぜひ手元に置きたい一冊。A6 版、96p.

Raportoj el Japanio 20 1500 円
"Katastrofo de Japanio en la sesa jaro" 堀泰雄による「報告」最新刊。東日本大震災被災地の訪問をつづける著者が見つめる日本の「いま」。図版多数。A5 判、237p.

※ **Raportoj el Japanio 1 ~ 19** も在庫あり(1200 ~ 2200 円)。

東日本大震災 震災鎮魂句 500 円
Hajkoj pri la japana katastrofo。「黒々と津波は翼広げけり」-釜石の俳人・照井翠(俳誌「寒雷」「草笛」同人)の俳句を堀泰雄が翻訳、写真と文を添えて世界へ発信。A4 判、32p.

★ 宮本正男の作品 ★

日本文学に現れたエスペラント 800 円
大江健三郎、中野重治、山本有三らの作品に描かれたエスペラント。年譜など付録も充実。

Vivo kaj verkoj de Miyamoto Masao 800 円
没後 10 周年記念追悼文集。Auld, Benczik ら執筆。

La obstino 800 円
宮本訳の中島敦「山月記」「名人伝」「李陵」。

★ 世界へ伝える一堀泰雄の著作 ★

震災の記憶 1500 円

震災の遺品 1000 円

写真とことばで伝える東日本大震災被災地の歳月。

Raportoj el Japanio 15 1500 円

Raportoj el Japanio 16 1300 円

Raportoj el Japanio 17 1300 円

Raportoj el Japanio 18 1300 円

Raportoj el Japanio 19 1300 円

3・11 以降毎年の状況を丹念にまとめた「報告」。

Pacmesaĝoj tra la mondo 1500 円

平和を願うエスペランティストの声。

ご注文は郵便、ファクス、電子メールで。送料は実費。現品と一緒に請求書を送ります。支払いは振替口座で。

編集ノート



★ 関西大会の閉会式で「参加者は 180 人」と報告しましたが、その後不在参加の追加があり、182 人になりました。(島谷 剛)

発行所：ラ・モバード社 編集：相川節子 発行人：染川隆俊 定価280円 送料62円 1年3800円 送料共本
局：一般社団法人 関西エスペラント連盟内 561-0802 豊中市曾根東町1-11-46-204
電話 (06) 6841-1928 ファクス専用 (06) 6841-1955 電子メール：esperanto@kleg.jp
編集部電子メール：lamovado@gmail.com
振替口座 00960-1-60436 「一般社団法人 関西エスペラント連盟」 ホームページ：http://kleg.jp
九州支局：九州エスペラント連盟内 818-0105 福岡県太宰府市都府楼南2-8-7 武藤たつこ方 電話 (092) 923-2877
中国四国支局：中国四国エスペラント連盟内 771-0371 徳島県鳴門市北灘町柳木字観音面14-1 木谷奉子方 電話(088)688-1098